

【一部変更/新課程対応】「社会教育主事の養成に係る社会教育に関する科目」開講科目一覧 (様式3-2)

記入例		大学における開講科目					担当教員(新)			担当教員(旧)			備考		
科目名	単位数	科目名 (社会教育特講においては、主として扱う内容についても選択)	区分	単位数	1単位当たりの時間数	時期	氏名	役職	担当	氏名	役職	担当			
必修科目	生涯学習概論	4	生涯学習概論	必修	4	15	2通年	A	教授	◎	A	教授	◎	変更なし	
	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論A	必修	2	15	2前	B	准教授						
			生涯学習支援論B	必修	2	15	3前	C	准教授						
	社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	必修	2	15	2後	D	准教授	○					
			社会教育経営論Ⅱ	必修	2	15	3前	D	准教授	○					
	社会教育特講	8	多文化共生と社会学習	多文化共生と社会教育	選択	2	15		E	助教		Z	准教授		
			レクリエーション活動の理論と方法	生涯スポーツと社会教育	選択	2	15		F	教授		F	教授		変更なし
			博物館教育論	博物館学	選択必修	2	15		G	准教授		G	准教授		変更なし
			図書館教育論	図書館学	選択必修	2	15		D	准教授		D	准教授		変更なし
			様々な人権課題と社会教育	人権教育と社会教育	必修	2	15		F			F	教授		変更なし
社会教育実習	1	社会教育実習	必修	2	30	3通年	A	教授	◎						
選択科目	3	社会教育演習		選択必修	2	15	4前	D	准教授	○	D	准教授	○	変更なし	
		社会教育課題研究		選択必修	2	15	3後	D	准教授	○	D	准教授	○	変更なし	
		(任意設定科目)													
		(任意設定科目)													
計	24	計		24											

(記載上の注意)

- 1 太線内について記載してください。
  - 2 科目名は、基本的には法令上の科目名としてください。(社会教育特講を除く)
  - 3 任意設定科目は、法定科目以外に大学の養成課程において受講を義務づけている科目がある場合に記載してください。
  - 4 区分欄は、必修科目の場合は必修、選択必修科目の場合は選択必修、選択科目の場合は選択してください。
  - 5 単位数の計欄には、社会教育主事資格取得のために修得すべき最低限の単位数の合計を記入してください。
  - 6 時間数欄には1単位当たりの時間数を記載してください。(参考 講義・演習：15～30時間、実習：30～45時間)
  - 7 時期の欄には、年次、前期・後期・集中等を記載してください。(例：2前期)
  - 8 担当教員の役職欄には「教授」、「講師」等と記載してください。
  - 9 【担当欄について】社会教育に関する科目について総括的役割を担う専任教員(原則2名以上)を選任し、そのうち主担当者に◎、それ以外に○をつけてください。
  - 10 法令上の科目に対応する科目が複数の場合は、行を追加してください。
  - 11 単位互換において科目を開講する場合は、備考欄に単位互換をする大学名を記載してください。なお、シラバス(案)及び担当教員の履歴書は、単位互換をする大学の過程で確認するため、提出の必要はありません。
  - 12 一部変更届を提出する際は、変更箇所のセルを網掛け(色つき)にしたりした線を引いたりするなど変更点を明示してください。
- ※ 新設・変更される各科目のシラバス案(参考：様式4)を添付してください。また、シラバス(案)は、1科目当たりA4用紙1～2枚程度としてください。